

いまある交通施設を上手に使うって総合的な交通ネットワークを確立し、地域の特性に合った交通体系をつくります。

交通

都市づくりを支えるため、交通を取り巻く課題への取り組みと、利便性の向上を進めます。

交通基盤はこれまでの積極的な整備により、すでに大幅な拡充は必要としない水準に達しています。しかし、冬期間の道路交通機能の向上や、局所的、一時的な渋滞の緩和などは今後も取り組まなければならない課題です。また、公共交通機関は利用者の減少が続いていますが、環境にやさしくさまざまな人が安心して利用できるなど、今後の都市づくりの中で引き続き大きな役割を担っていくことから、維持・充実と利便性の向上に取り組む必要があります。さらに、北海道の中心都市として、広域的な交通ネットワークの充実を図るとともに、市内においては、都心や拠点などの地域特性やまちづくりに応じた交通体系の構築が必要です。

基本方針

総合的な交通ネットワークの確立

公共交通を軸とした交通体系を確立します。

公共交通ネットワーク

- 地下鉄やJRを基軸に、後背圏からのバスや路面電車のネットワークが各駅に接続する公共交通体系を基本とし、個々の公共交通の特性や役割を生かし、連携強化することでネットワークの充実を図ります。
- 多中心核都市構造実現のために各拠点へのアクセス機能を向上するなど、公共交通ネットワークを活用します。
- 乗り継ぎ機能の強化、利便性の向上など公共交通の質的充実に取り組みます。

必要な道路の整備や自動車の流れの分散化などにより適切な自動車交通を実現します。

道路ネットワーク

- 周辺都市や市内の各拠点を有機的に結ぶ道路ネットワークを確立します。
- 札幌都市圏の都市間を結ぶ連携道路、地域間を結ぶ環状道路・バイパス道路、都心部と地域拠点や周辺都市を結ぶ放射道路により、主要幹線道路網を強化します。
- 主要幹線道路を補完し、地域相互の連絡を確保する幹線道路や、生活幹線道路としての補助幹線道路の充実を図ります。
- 既存の道路を交差点の改良や道路空間の再配分などで有効に活用し、自動車交通の円滑化を図ります。

広域的な交通ネットワークを確立します。

広域的な交通ネットワーク

- 国や北海道、周辺市町村などと連携しながら、空港、港湾及びそれらへのアクセス並びに鉄道、高速自動車道路、主要幹線道路など広域交通機能の確保に努めます。
- 広域的な交通ネットワークと市内交通ネットワークの有機的な連携を図ります。

地域特性に応じた交通体系の構築

地域特性やまちづくりの方向を踏まえた交通体系を構築します。

- 地域のまちづくりと十分に連携し、地域特性に応じた交通体系のあり方を、市民、企業、行政などの課題や目標に対する共通認識のもとに見出していきます。
- 都心のまちづくりを支えるため、歩行者や環境を重視し、さまざまな人々が都心の魅力を楽しむことができる交通体系の実現に取り組みます。
- 都心以外の拠点や郊外部では地域特性に応じた交通機能の向上を図るため、安全で快適な歩行者空間の確保や乗り継ぎ利便性の向上などを検討していきます。

